

あたしにもわかる

旭川市 中心市街地 活性化 基本計画



長い名前ですが(笑)、聞いたことありますか?「中心市街地活性化基本計画」。これは国が、私たち国民の「生活」と「経済」の発展のために推進している、法律に基づいたまちづくりの取り組みです。旭川市は平成23年3月に内閣総理大臣の認定を受け、買物公園を中心とする約382haの広大なエリアで計画を展開中。ほっこるでは、4年後の計画期間が終わるとき(平成28年3月)、愛する買物公園がどうなっているのかを絵本にしてみました。みなさんもこれを見てわくわくしながら、一緒に計画に関わっていきましょう。

♪ 中心市街地活性化基本計画とは ♪

「中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進し、地域の振興及び秩序ある整備を図り、国民生活の向上及び国民経済の健全な発展に寄与することを目的とした」計画。平成18年8月22日内閣に本部が設置された。これまでに認定されたのは全国で105市。

今年40歳

買物公園未来絵本



2012年3月の北海道旭川。

ほっこるさんという、たいそう泣き虫な女の子がいました。

ほっこるさんは40年前に旭川の買物公園で生まれましたが、

なぜか今も子どものまま。

それは、「遊び」を食べて成長するのがほっこる民族だからです。

はじめはすくすく成長したほっこるさんでしたが、

だんだん友だちが減って遊ぶことが少なくなり、

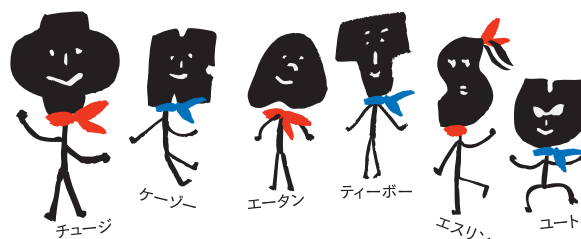
背もほとんど伸びなくなってしまうたのでした。



そんなある日、いつものように泣いているほつこるさんの前に、「中KATSU隊」の6人組が現れました。

チュージ、ケーゾー、エータン、ティーボー、エスリン、ユートは、「ほつこるさん！僕らにまかせて。きつと楽しいマチをつくって、ほつこるさんを大人にしてあげる」と言いました。

「中KATSU隊」は手分けして、どんどんマチを変えていきます。



マチヘンシン宣言 その1

来やすく
歩きやすい
マチになる！



まずチュージが、
買物公園を行き来する
ソーラー・トラムを走らせました。
沿道にお店や劇場ができ、
たくさんの人が訪れるようになりました。



発車オーライ

家族で
ふたりで♡ 出掛けたいなる



人が歩く速さで走るよ

■空き店舗を活用した
小劇場・映画館開設事業

■買物公園補助交通運行事業



外国人向け
案内サインが充実

■中心市街地への
外国人観光客誘導事業



駅周辺を
ぐるりとまわってね！

■都市型レンタサイクル運営事業



雨も雪も平気な
イベントスペース

■買物公園高質空間整備事業





マチヘンシン宣言 その3

おいしい
マチになる!



これからも継続、定着を
■「北の恵み 食べマルシェ」開催事業



とれたての元気な野菜がどっさり

■まいど朝市

歩くのって楽しいな。
人と出会うとうれしいな。
いつもどこから笑い声と
音楽がきこえてくる買物公園。
ほっこるさん、あらら涙はどこへやら。



いつも何かに出会えるよ☆

■文化・芸術関係イベント開催支援



3日間で22万人が集うのです

■買物公園まつり大道芸フェスティバルinあさひかわ



ひと足早くフェール旭川に完成。

大にぎわいの

■こども向け
屋内遊戯場等整備事業



若い才能を伸ばす
環境づくり

■学生向けバンド等練習スタジオ整備事業

マチヘンシン宣言 その2

近々べる
マチになる!



「市街地」だからJR旭川駅周辺だけ、と思いがちですが、この計画で言う中心市街地は、駅を中心とした約382haという広々としたエリア。北は旭橋のかかる牛朱別川、西は常磐公園のはじっこ、東は国道39号線、南は国道237号線がその端、と言えばイメージできるでしょうか？

「中心市街地」というのは。



旭川の中心市街地を活性化させる基本の計画です。

旭川の「中」活して、なに？、どなまもの？



たとえば！

丸井今井の跡「フィール旭川」が人気店となり、新しい人の流れができる！

買物公園を訪れた人が、遊んだり買物したり食事したりと、長く時間を過ごす！

街中に住む人がふえて、日常的に住人を含めたにぎわいができる！

高校生や大学生が、勉強したり書店などで知識を得て健全に成長する場になる！

映画館や劇場に人が集い、文化・芸術にふれる！

大小のイベントが毎日のように開催され、安心して集まれる楽しい場となる！

などなど……

こんなこと

「活性化」は「元気になる」こと。

「活性化」は文字通り、にぎわいが生まれ、時代に合わせていろいろに変化したり、それによって注目を集めて話題になったり、まちが「元気になること」とほつくるは捉えています。

どきどき

おしまい

子育て世代のために
市営住宅を街中に
■中心市街地団地整備事業

マチヘンシン宣言 その4

住みたい
マチになる！



医療機関や
日用品店が近い
メリットを活用
■高齢者等居住安定化推進事業

マチへの引っ越しを支援します！

■まちなか移住・住み替え支援事業

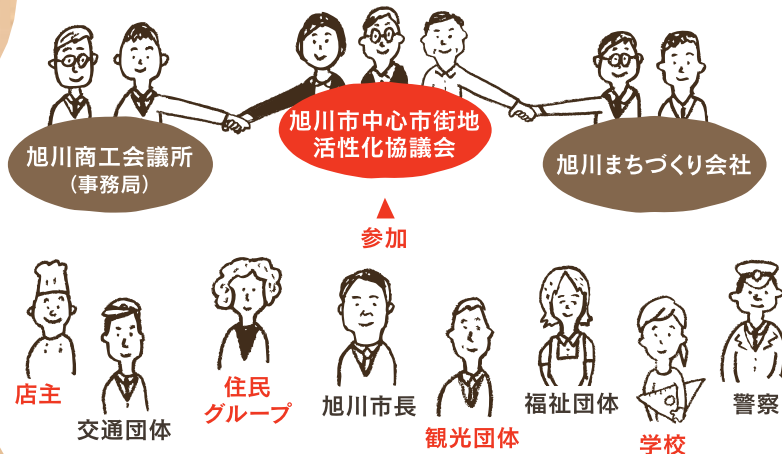


子どもが走り回り、
おじいちゃんおばあちゃんが
ニコニコ暮らすマチで、
「遊び」をお腹いっぱい食べたほっこりするさんは、
やさしく明るい大人に成長しました。
めでたしめでたし。



■七条緑道整備事業

—この事業を動かすのは誰？—
 この計画のために、「旭川市中心市街地活性化協議会」が組織されました。「旭川商工会議所」と「旭川まちづくり会社」などが中心となって構成されています。そこに、お店を営営する人やいろいろな住民団体、観光・福祉・教育団体が参加して、行政と市民が一体となって活動が進められます。



北海道経済産業局 北海道開発局 北海道運輸局
 北海道上川総合振興局 中小企業基盤整備機構

もっと知りたい! とくに聞けばいいの?

[旭川市中心市街地活性化協議会 事務局]

旭川商工会議所 産業支援部経営支援課

〒070-8540 旭川市常盤通1丁目 道北経済センター3F
 0166-22-8414 info@ccia.or.jp

旭川市中心市街地を活性化。基本の計画です。

—元気な「コンパクトシティ」をめざす。

中心市街地に施設や企画を実現していくと、新しい機能がふえ、さまざまな表情が生まれます。⇒マチが市民や観光客でにぎわいパワーアップ。⇒便利で楽しいところに住もうという人がふえる。これが、旭川市が何をするにも効率の良い「コンパクトシティ」に生まれ変わるきっかけとなるわけです。

コンパクトシティとは
 中心部に機能を集約し、市街地をコンパクトな規模に収めた都市形態。移動を一定範囲に収めることで自然環境や文化遺産の保護、地域コミュニティの創出など、少子高齢化へのきめ細かな対応を図るのが目的。アメリカやEU諸国では長く研究が行われ、日本でも議論が深まりつつある。

3つの目標



原画が実現するのはアナタです!

1. 若者が雨にぬれずに歌える場所をつくってあげて!
 40代・男性・会社員 Y・Mさん
2. 買物公園の中の行き来に、電気バスがあったら助かるわ。
 70代・女性・主婦 S・Nさん
3. 歩くことそのものが目的になるような、魅力ある道に。
 40代・男性・パティシエ M・Fさん
4. コンサートホールや映画館などの公共空間がほしい。
 20代・男性・学生 Y・Oさん
5. 地場産品が手頃な価格で楽しく買えるお店を。
 60代・男性・大学勤務 N・Oさん
6. お店の前などでいつも面白いことをやってほしい。
 20代・女性・OL Y・Kさん
7. 母世代(50代)のサークルは活発。集まれる場所を!
 30代・女性・デザイナー N・Oさん

2009年11月にはつくるが集めた市民94人のアンケートで、「買物公園がこうなったらいいな」に答えてくれたみなさん。今回の計画に、それに近い内容が盛り込まれています! いいマチになりそうですね!

—あのときの夢が叶うかも!



買物公園に店を出したのは昭和53年。その頃は物件の権利取るだけで大変だった。地下のせいもあって2、3年は苦しかったけど、その後はうなぎ上りにお客さんがふえていったね。行列ができたとき思ったんだ、地下でよかった。待つお客さんを雨に濡らさずに済むって。息子に店を譲り、札幌や海外に支店ができた今も、梅光軒の信念は「ひたすらうまいラーメンをつくる」。ラーメンバカだね(笑)。

買物公園を歩くのは、6月の大道芸フェスティバルくらいかな。あれはいいね。コンサートもどんどんやればいい。音楽は青春だよ!定期的にジャズやってたり、アマチュアが発表してたり。全天候型のA.s.h.を有効に使えばいいんじゃない?あ、あと孫を連れて映画館に行きたいね。運転は危ないから、バスで行ける買物公園にあると便利だと思うんだ。

(有)梅光軒・(株)オーシャン
2条通8丁目 ビアザビルB1F
会長 井上弘之さん

行列見ながらラーメン
つくってたら風邪も治るの。

うまいラーメンをつくる。
それがイ業のできる活性化。

西川市長もうちのお客さんさ!



井上寛太君(小1) 咲良ちゃん(6歳)

大人のデートに、映画館復活を!

集まって、集まる場所を。
落ちて着いて、集まる場所を。

飲んだ後寄れる
スーパもほしい♡

クロバー洋服店
3条通8丁目 緑橋ビル1号館
オーナー 亀野峰子さん

うちは昭和29年の開店以来、ずっとここ。緑橋通り側にアーケードがかかって、よくその上で雪合戦したものよ(笑)。お客さんは8Lまであるキングサイズの洋服を求める男性と、私と洋服の好みが合う40~50代以上の女性。コーヒーを飲みたいで来る人や、人生相談もあるわ(笑)。まちはもっと、大人の女性がゆっくりできる場所があればいいと思うの。たとえば、私もちょっと歌を歌うんですが(照。)、音楽が聴けるこじんまりと心地よい空間があったら最高ですね。

ここ緑橋ビルも、レトロな雰囲気が若者に好評なのよ。うまく利用して、旭川でものづくりをする若い人たちに発表&販売の機会をつくってあげたいわ。

学業と中央図書館のアルバイト、それに「はしっくす」活動で忙しい毎日です。学生の意見を求められる場に呼ばれたり、人との出会いや新しい体験がぐんとふえて行動範囲も広がりました。企画が好きなので、もっと関わって意見を言えたらうれしい。

「まちなか交流館」は、いつ行っても誰かが声をかけてくれて集まりやすい。そういう場所が多くなるといいですね。あと、お金とか人目を気にせずお弁当が食べられる場所や、落ち着いて勉強できるところがほしい。それともっと緑を。そこに市営住宅が充実したら、ダンゼン街中に住みます!

市民と学生の架け橋(はし)+6大学(しっくす)



学生自主組織はしっくす・
北海道教育大学旭川校
伊藤 瑠さん

「誰かいてくれる」
それが買物公園の
鬼気力。

当麻出身だけど、
もう「旭川人」!

旭川人



西川市長、
もっと学生を
巻き込んで!

❁ 中心市街地

こうなったらいいな

中心市街地活性化基本計画が本格化する中、市民の期待度やいかに?
旭川市長にも、ひとりのお父さんとして意見を聞きましたよ。



別冊 ほっこる 初発刊 によせて

旭川はチャンスを迎えてる!

旭川平和通商店街振興組合 理事長 鳥居 幸廣

今、私たちのまち旭川は大変なチャンスを迎えています。そう考える理由のひとつは、旭川駅を中心とした「北彩都計画」。JR旭川新駅舎、神楽地区と買物公園側を結ぶふたつの橋、そして駅前側と駅前広場を整備する、1000億円を投じた大プロジェクトです。このうち新駅舎と氷点橋はすでに完成(平成23年)、平成26年にはクリスタル橋や駅前広場などすべての工事が完了する予定です。

それに重なるように昨年3月、この別冊ほっこるで取り上げた「旭川市中心市街地活性化基本計画」が施行されました。これは単なる中心部の開発や商業の活性化ではなく、旭川市がこのさき生き延びるための唯一の方法と私は捉えています。少子高齢化は加速度的に進み、現在35万人の旭川市の人口

が将来20万人台になるとの推計も出ています。そのときに備え、郊外に広がったまちをコンパクトにしなければなりません。

めざすのは「お年寄りにやさしいまち」。歩いて行けるところに駅やバスターミナルなどの公共交通機関があり、安心な毎日、いつも買い物が楽しめる商店街がある。そんなまちは、若い家族だって心地いいはず。だからみなさん、中心市街地に住みましょう!



「商店街」は単なる商業施設だけではなく、人が集まって絆や人間関係を形成するひとつのコミュニティという大切な役割を担います。人が行き交い、楽しく、住みよい、自慢できるまちにしませんか。そのために、もっとみんなで話し合ひましょう!自由に意見が言える場づくりを、私も旭川市に働きかけていきます。

「ほっこる」に、別冊が誕生するなんて♪

買物公園にとって、将来の道筋をつける大切な「旭川市中心市街地活性化基本計画」。この計画が市民にあまり知られていないと気付いた私たちは、「ほっこるでわかりやすく面白く伝えられないか」と考えました。そうして生まれたのが今号の別冊です。内容は理解できたでしょうか? 4年後に期待を持てましたか? ぜひご意見を寄せてください。3名様に、旭川みやげに人気の「買物公園クッキー 8枚入り」をプレゼントします。



応募方法／ハガキや封書、メールなどで、下記「ほっこる編集部」宛にお送りください。お名前(匿名希望の方はその旨も)、住所、連絡先を忘れずに。2012年4月15日必着。

※いただいた情報は厳重に管理し、ほっこるの編集と買物公園のHP以外で使用することはありません。

次号予告

ほっこる vol.11、2012年春号の発行は3月末の予定です。

買物公園

発行日 2012年3月6日
発行 旭川平和通商店街振興組合 ほっこる編集部
制作 (株)北日本広告社旭川支社・文屋・よつば舎・パチリ堂
印刷 (株)須田製版旭川支社

ご意見・お問い合わせは
旭川平和通商店街振興組合 ほっこる編集部
〒070-0034 旭川市4条通7丁目 中川ビル5F
tel.0166-26-0815 fax.0166-26-0821
enquete@kaimonokouen.com

——意見聞かせて。——
計画は行政だけでは実現できません。市民が関心を持ち一緒に進めていかないと実効性も出ない。みなさんの意見は広報誌やホームページでも募りますが、大きなもの、たとえばガーデン整備などは懇話会をつくって議論してもらおうようにしました。これからもそうした官民一体の姿勢で取り組んでいきます。



——お店やお客あそびの買物公園。——
買物公園は、人の体で言えば「背骨」。体を支える軸だけど、背骨だけじゃ動けない。骨や筋肉(まわりの店や住民)と連携して初めて、立つたり走ったりできるでしょう。早く計画を形にして、私も新しい店を探したり家族で食事や買い物にも出掛けた。あと、久しぶりに常盤公園でボートに乗るのが夢(笑)。

——めざせコンパクトなまち。——
この計画の先にあるのは「コンパクトシティ」。これは、いずれくる人口減少の波に先手を打つ狙いです。都市機能や居住地を1カ所に集めることで効率を高め、まちの活力を維持しよう!と。
その中心である日本初の歩行者天国「買物公園」は旭川の誇り! 私が見て来た他都市の商店街と比べてもまだまだ活気があるから、今のうちにこの計画で弾みをつけた。



市民と同じ視点で
「一緒に進めて」
いきたい。

買物公園の記憶は、
亀やのお子様ランチ♪



西川将人旭川市長

知恵をあわせて 夢をあわせて いい旭川つくる♪

